

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名：ウッドエイド ナチュレ

色名：各色

製品説明：種類：アクリル・シリコン樹脂系合成樹脂エマルジョンペイント

主な用途：木材の保護

会社名：日本マテリアイド株式会社

住所：〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー19F

電話番号：06-6223-7746

FAX番号：06-6223-7747

2. 危険有害性の要約

GHS分類

JIS Z7252 (2019) に基づき分類した。

「区分に該当しない」「分類できない」に該当する項目は表示していない。

生殖細胞変異原性	区分1B
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分2（中枢神経系、血液系、腎臓）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分2（呼吸器、肝臓）
水生環境有害性（急性）	区分1
水生環境有害性（慢性）	区分2

GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

遺伝性疾患のおそれ

臓器（中枢神経系、血液系、腎臓）の障害のおそれ

長期または反復暴露による臓器（呼吸器、肝臓）の障害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

応急措置

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当を受けること。

気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。

漏出物を回収すること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物／容器を関連法規に従って適切に廃棄すること。

3. 組成、成分情報

成分名	CAS No.	含有量 (重量%)	関係法令 ^{※1}							備考
			表示 対象	通知 対象	がん 原性	皮膚 等障 害	有機 則	特化 則	化管 法	
合成樹脂（アクリル、ウレタン、シリコンゴム）	—	15～20	—	—	—	—	—	—	—	
二酸化チタン	13463-67-7	1～5	○	○	—	—	—	—	—	
カーボンブラック	1333-86-4	0～1	△	○	—	—	—	—	—	※2
酸化第二鉄（赤色酸化鉄）	1309-37-1	0～1	△	△	—	—	—	—	—	※2
水和酸化第二鉄（黄色酸化鉄）	51274-00-1	0～1	△	△	—	—	—	—	—	※2
その他着色顔料	—	0～1	—	—	—	—	—	—	—	※2
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	1.7	○	○	—	—	—	—	○	
エチレングリコール	107-21-1	1～5	○	○	—	○	—	—	—	
エタノール	64-17-5	0.1～1	○	○	—	—	—	—	—	
その他有機溶剤	—	1～5	—	—	—	—	—	—	—	
メチル=ベンゾイミダゾール-2-イルカルバマート	10605-21-7	0.1～1	○	○	—	△	—	—	△	
ジンクピリチオン	13463-41-7	0.1～1	△	○	—	△	—	—	△	※3
オクタメチルテトラシロキサン	556-67-2	0.1～1	△	○	—	—	—	—	△	※3
非晶質シリカ	60676-86-0	0.1～1	—	—	—	—	—	—	—	
その他添加剤	—	1～5	—	—	—	—	—	—	—	
水	7732-18-5	65～70	—	—	—	—	—	—	—	

※1 関係法令 ○：最大含有量が閾値以上の対象物質 / △：最大含有量が閾値未満の対象物質 / —：対象外の物質

※2 色別の含有量は下表参照。

※3 ジンクピリチオンは2025年4月1日より、オクタメチルテトラシロキサンは2026年4月1日より、表示および通知対象。

4. 応急措置

目に入った場合

- * 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。
- * 医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- * 付着物を布にて素早く拭き取る。
- * 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
- * 溶剤、シンナーは使わないこと。
- * 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

吸入した場合

- * 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。
- * 嘔吐物は飲み込ませないようにする。
- * 直ちに医師の診断を受けること。
- * 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- * 安静にして直ちに医者の診断を受ける。
- * 嘔吐物は飲み込ませないこと。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤

水（○）、炭酸ガス（○）、泡（○）、粉末（○）、乾燥砂（○）、その他（ ）

消火方法

- * このもの自体には可燃性なし。

6. 漏出時の措置

- * 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- * 乾燥砂、土、その他の不燃性の物に吸収させて回収する。
大量の流出には、盛り土で囲って流出を防止する。
- * 河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
- * 付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

- * 換気の良い場所で行う。

保管上の注意

- * 日光の直射を避ける。
- * -5℃以下となるような場所は避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- * 特に必要なし。

保護具

呼吸系の保護

- * 有機ガス用防毒マスクを着用する。（スプレー塗装の場合は防塵機能がある防毒マスクが望ましい）

目の保護

- * 保護メガネを着用する。

皮膚の保護

- * 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

その他の保護

9. 物理的及び化学的性質

状態 液体（○）、気体（ ）、固形状（ ）、粉末状（ ）、ペースト状（ ）

色 表示の各色に対応（クリアは乳白色）

臭気 僅かにアルコール臭

沸点 —

蒸気圧 —

密度 1.04~1.05g/ml (23℃)

pH 8.9~9.3

その他 水に可溶

色別の密度

クリア、ライトオーク、マホガニー、チーク、ウォルナット、 ダークオーク、ブラック、グレー	1.04
ホワイト、オレンジ、ライトマホガニー	1.05

10. 安定性及び反応性

製品特数

引火点 なし

発火点 —

爆発限界 下限 — 上限 —

反応性、安定性情報

接触により危険性のある物質 情報なし

燃焼などによる有害ガス発生 このものは燃えないが塗膜などが燃えた場合、COなどが発生。

その他の反応性情報 通常の条件では安定である。

その他の危険性情報

特になし。

11. 有害性情報

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

物質名	管理濃度	ACGIH (TLV)	IARC	その他有害性 経口急性毒性 LD ₅₀ (ラット)
合成樹脂 (アクリル、ウレタン、シリコンゴム)	—	—	—	—
二酸化チタン	—	10mg/m ³	2B	>2,000mg/kg
カーボンブラック	—	3mg/m ³	2B	>8,000mg/kg
酸化第二鉄 (赤色酸化鉄)	—	5mg/m ³ (Fe)	3	—
水和酸化第二鉄 (黄色酸化鉄)	—	5mg/m ³ (Fe)	—	—
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	—	—	—	5,080mg/kg
エチレングリコール	—	100ppm	—	4,000mg/kg
エタノール	—	1000ppm	1	6,200mg/kg
メチル=ベンゾイミダゾール-2-イルカルバマート	—	—	—	>10,000mg/kg
ジンクピリチオン	—	—	—	177mg/kg
オクタメチルテトラシロキサン	—	—	—	—
非晶質シリカ	—	—	—	—

組成物質に関するその他の有害性情報

* 上記以外特に情報なし。

製品に関する有害性情報

* 製品としての安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報

* 容器、機器などの洗浄水をそのまま排水溝に流さないこと。

13. 廃棄上の注意

- * 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。
- * 容器、機器装置等を洗浄した廃水等は地面や廃水溝へそのまま流さないこと。
- * 廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

14. 輸送上の注意

共通 7. 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
 陸上輸送 法規に該当しない。
 海上輸送 船舶安全法に該当しない。
 航空輸送 航空法に該当しない。
 国連番号 なし

15. 適用法令

化審法 該当しない
 消防法 該当しない (非危険物)
 労働安全衛生法
 労働安全衛生法施行令 表示および通知対象物質 (3. 組成、成分情報の項の表参照)
 労働安全衛生規則 577条の2 がん原性物質：該当しない
 594条の2 皮膚等障害化学物質：エチレングリコール
 有機溶剤中毒予防規則 該当しない
 特定化学物質障害予防規則 該当しない
 化学物質管理促進法 (PRTR) 第一種指定化学物質：ジエチレングリコールモノブチルエーテル
 毒物及び劇物取締法 該当しない

16. その他の情報

主な引用文献

日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」、危険防災救急便覧、国際化学物質安全カード (ICSC)

注意 危険有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。